

5 ため池浸水想定区域図(今熊新池)

ため池ハザードマップの作成条件

● ため池ハザードマップは、万が一への備えとして「最大規模の浸水想定区域」を示しています。浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫シミュレーション」により求めています。

- ① ため池が満水状態のときに、大雨や大地震等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しました。
- ② 決壊を仮定した場所は、堤防が高い場所としました。
- ③ 決壊によって流出する水は、地形を5mの格子で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深等を計算により求めました。

！ ハザードマップ活用の留意点

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

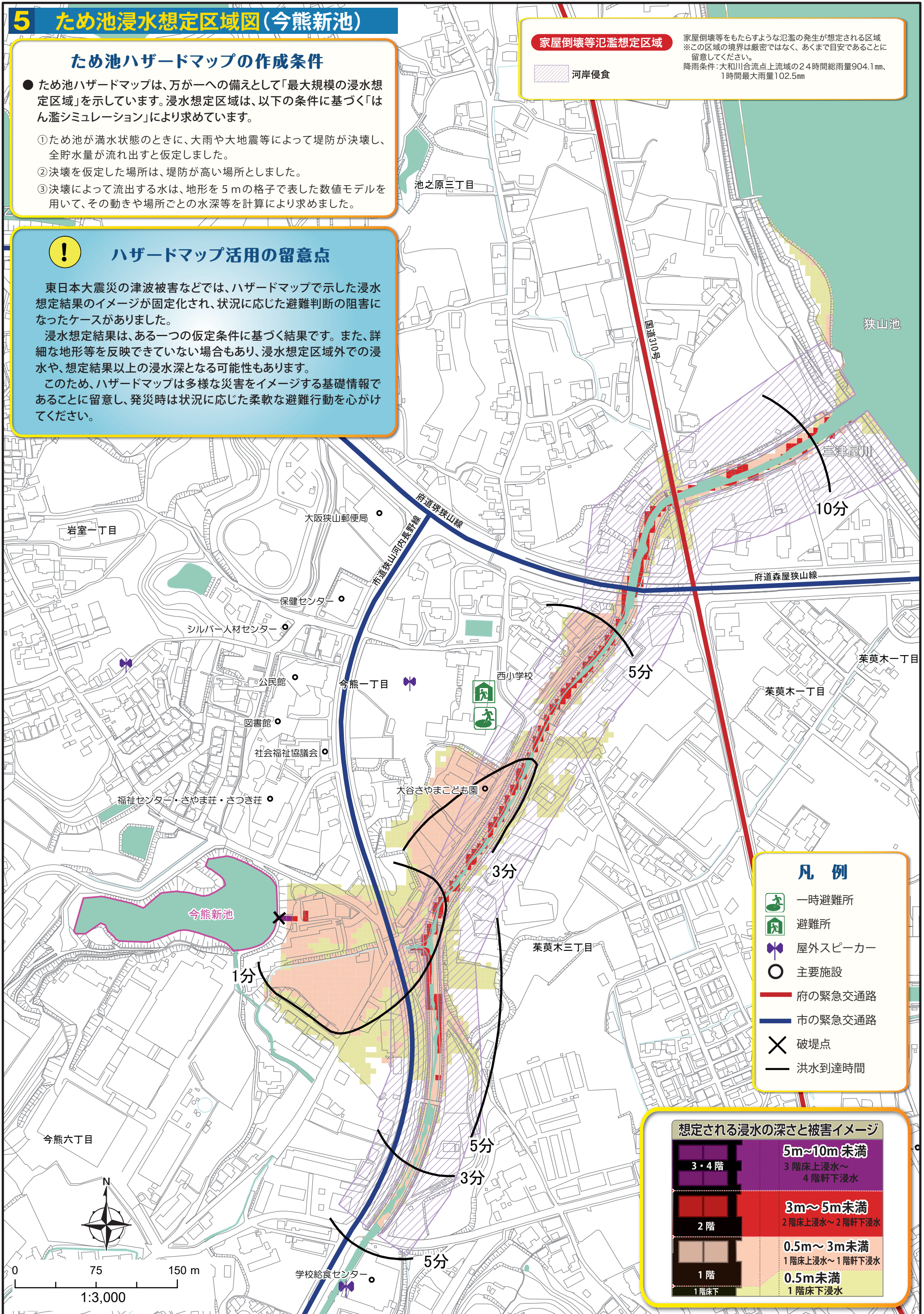
浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域
※この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
降雨条件:大和川合流点上流域の24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm

河岸侵食



凡例

- 一時避難所
- 避難所
- 屋外スピーカー
- 主要施設
- 府の緊急交通路
- 市の緊急交通路
- 破堤点
- 洪水到達時間

想定される浸水の深さと被害イメージ

3・4階	5m~10m未満 3階床上浸水~ 4階軒下浸水
2階	3m~5m未満 2階床上浸水~2階軒下浸水
1階	0.5m~3m未満 1階床上浸水~1階軒下浸水
1階床下	0.5m未満 1階床下浸水



0 75 150 m
1:3,000